

歯科材料(08) 歯科用石こう及び石膏製品
一般医療機器 歯科用樹脂系模型材 JMDN34811000
ブレードント・FGPフィットシステム

【形状・構造及び原理等】（※）

・形状、型式 オーダーナンバー
セット..... 540 0102 8



コンポーネント A	540 0108 A
コンポーネント B	540 0108 B
ボンディング材 (2.5ml)	540 0102 6



分離劑(3.0ml)..... 540 0102 7

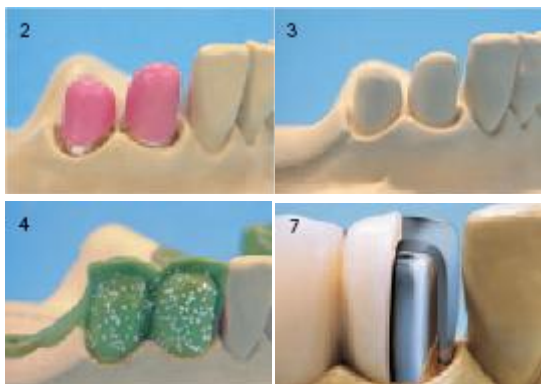


- ・主成分 コンポーネントA：ジメタクリレート、シリカ
コンポーネントB：ジメタクリレート、シリカ
ボンディング材：ジメタクリレート、ケトンリン酸エステル
- ・硬化時間：約7分間
- ・原理：コンポーネントAとコンポーネントBを混和させ、コーヌスの内冠に塗布し、フリクションを回復させるために使用する。

【使用目的又は効果】

- ・ 歯科用模型及び修復物の作製過程で用いる各種高分子からなる材料をいう。

【使用方法等】 (*)



操作方法 1 新たに作成するテレスコープクラウンの場合

- ① 通法に従い、内冠を作成する。
- ② 作成した内冠をワックスディッピング法でマージン部から1mm 縁上を除いて、厚さ約0.2mm 以上で被覆してFGP レジンのスペースを確保する
- ③ 被覆した内冠を模型上にセットしてから複模型を作製し、外冠をワックスアップして鋳造・仕上げる。



- ④ 完成した外冠の、FGP レジンが被覆される内面を 50 ミクロンのアルミナを使用してサンドブラスト処理をした後、乾いたブラシ又はオイルフリーのコンプレッサーを使用したエアで内面を清掃する。



- ⑤ ボンディング材を外冠の内側に塗布し、3-5 分乾燥させる。



- ⑥ コンポーネントAとコンポーネントBを1:1の比率で練和する。



- ⑦ 外冠の内面に練和したコンポーネントを塗布する。この時、咬合面にやや多めに塗布すること
- ⑧ 均一な力で押し付け、余剰ペーストを除去する。



- ⑨ 装着後してから約4分後に外冠をはずし、内冠の分離剤を流水で洗浄する。
- ⑩ 約3分で外冠内面のFGPレジン硬化が完了する。

操作方法2 維持力を失ったテレスコープ・コーヌスクラウンの修復

- ① サンドブラスト処理、またはダイヤモンドパーパーを用いて、FGP レジンを接着する外冠内面を最低 0.2mm 以上切削する。
- ② 操作方法 1 の④から⑦に従って作業をする。
- ③ 口腔内の内冠をきれいに洗浄する。内冠表面の分離剤にはワセリンを使用すること。ただしワセリンをつけすぎるとフリクションが緩くなることに注意すること

- ④ FGP レジンを塗布した外冠をセットし、正確に咬合する。
- ⑤ マージン部からあふれた余剰ペーストを除去する。マージンが歯肉縁下にある場合は、圧排糸を使用すること。
- ⑥ 装着してから約4分度に外冠をはずし、内冠を洗浄する。
- ⑦ 外冠を3分以上放置してレジンが硬化した後、マージン部をきれいにトリミングして仕上げる。

【禁忌事項】 (*)

口腔内において維持力を失ったテレスコープ・コーヌスクラウンの修復を行う場合は、一度に2本までを上限としてください。
一度に3本以上を行った場合、FGP レジンの硬化後に外冠が外れなくなることがあります。

【使用上の注意】 ()**

- ・本製品のペーストが皮膚に付着した場合すぐに石鹸等で洗浄すること。
- ・外冠内面に本製品で被覆した場合のデンチャーの洗浄は歯ブラシを使用し、市販の義歯洗浄剤は使用しないこと。
- ・本製品は歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ・本製品は目に入らないように注意すること。万一目に入った時には、すぐに流水で洗浄し、医師の診断を受けること。
- ・本製品は他の製品と混用しないこと。
- ・ペーストは練和開始から約2分で硬化開始するので、迅速に作業すること。コンポーネントの温度が高いと硬化が促進されるため、作業直前まで冷蔵庫に保管すること。同様に外冠のフレームの温度にも注意すること (*)

【保管方法及び有効期間等】 ()**

- ・保管は4℃～25℃の冷暗所に保管すること。 (*)
- ・使用期限は製造日より2年間。
- ・本製品は歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管、管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】 ()**

製造販売業者
株式会社日本歯科商社
製造業者
ブレーデント社(ドイツ)
(英名) bredent GmbH & Co. KG